

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

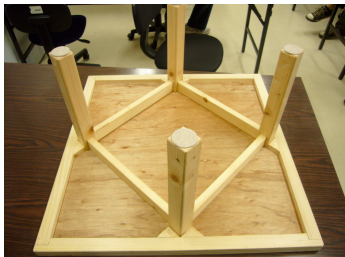
学校名	熊本大学	個人・グループ名	下八重 雄太 (しもはえ ゆうた)	作品名	4人用座卓
-----	------	----------	----------------------	-----	-------

【作るきっかけ】

大学生といえば、よく一人暮らしの友達の部屋に集っては、飲み会をしたり、麻雀をしたりして、楽しく遊ぶものです。だいたい夜中まで騒いだ後、床にみんなで雑魚寝になります。

ある時、一人の友人から、今度四人で鍋を食べようと誘われました。しかし、友人宅には、みんなで囲めるようなテーブルや座卓はなく、購入するお金もないとのことでした。そこで、私は四人でちょうど座りやすい座卓を作ってみようと考えました。

【工夫】



上に書いたように、四人で座卓に座ることを考えました。

まず、天板の形です。一般的な天板は丸か四角です。今回は、四人用なので、正方形か円のどちらかにしようと思いました。しかし丸型だと、麻雀がしにくいという友人たちの意見から、天板は正方形に決定しました。

普通に天板が正方形の座卓を作ると、脚が四隅につきます。しかし、そのように脚を取り付けると、胡坐をかいた場合、膝が、座卓の脚に当たってしまいます。胡坐をかいても、座卓に当たらないほど座卓の脚の間隔を広く出来れば問題ないのですが、それだと友人宅には大きすぎるサイズになってしまいます。

悩んだ結果、写真のような脚の付け方にすることで、問題を解消することに成功しました。

更に、天板と脚は取り外し可能なので、急に座卓が邪魔になっても、簡単にスペースを確保できます。これで、急な雑魚寝の人数の増加にも対応できます。

【グレードアップ】



天板と脚は、三角形の木片によって固定されています。ということは、天板の形をいろいろ作って、裏に固定用の木片を作れば、円卓にも、椅子にもなることができます。

今回は、他のバージョンをお見せすることはやめておこうと思います。それは、使い方は使う人次第だからです。

この作品を見て、自分ならこんな形のものを上に乗せたいと考え、作りたくなっていただけたら、大変光栄です。